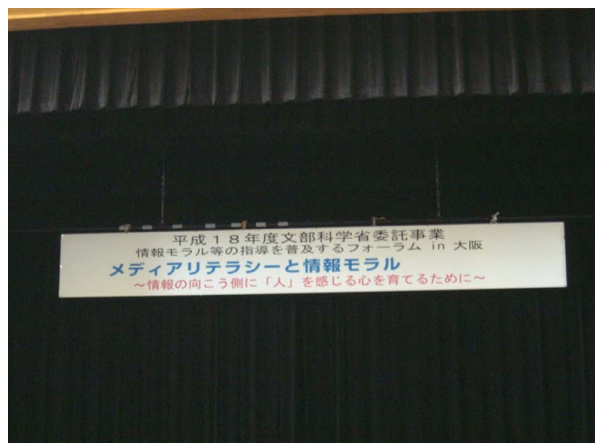


大阪府

日時	平成 18 年 12 月 11 日
開催場所	大阪府教育センター
参加人数	338 人
フォーラム名	情報モラル等の指導を普及するフォーラム in 大阪 メディアリテラシーと情報モラル ～情報の向こう側に「人」を感じる心を育てるために～
フォーラムの狙い	情報機器の発達など情報環境の急速な変化は、子供たちのコミュニケーションの取り方や人間関係のあり方に大きな影響を与えている。子供たちが情報機器の特性を知り、情報社会で正しい行動が取れるよう「情報モラル」を育成しさまざまなメディアから発信される内容について批判的に吟味し、主体的に選択し、コミュニケーションを創造する能力つまり「メディアリテラシー」を育成することが必要である。 普及フォーラムを開催し情報モラル等に関する効果的な指導法などの研究・普及を図る。
1 部 講演	大阪教育大学実践学校教育講座助教授 森田 英嗣 情報社会を生きる ～メディアリテラシー、情報リテラシー、そして情報モラル～
事例報告①	大阪府熊取町教育委員会学校教育課指導主事 吉田 茂昭 「体験活動を通したメディア活用能力の育成」
事例報告②	大阪府寝屋川市教育委員会教育指導課指導主事 笹間 康浩 「体験活動を通したメディア活用能力の育成」小中一貫で I C T 基礎力を養う」
事例報告③	大阪府立かわち野高等学校教諭 関本 正則 「信頼できる W E B ページとは」
2 部 講演	大阪府警察本部生活安全部生活安全総務係長 福山 剛志 「府内におけるインターネット等を使った犯罪等の問題事例の現状と対策」



<講演の概要>

「情報社会を生きる ～メディアリテラシー、情報リテラシー、そして情報モラル～」

- ・ 情報社会を生きるための問題の所在としてニール・ポストマンの「子どもはもういない」を紹介するとともに現実社会と仮想社会の関係について
- ・ 私達ができることは何か？で家庭に出来ること、社会に出来ること、学校に出来ることについて

「体験活動を通したメディア活用能力の育成」

- ・ 情報活用能力の3つの観点
- ・ 具体的な実践として熊取町の小学校5年生の情報教育実践例の紹介

「体験活動を通したメディア活用能力の育成」小中一貫でICT基礎力を養う」

- ・ 寝屋川市の元気教育、小中一貫教育の推進の紹介
- ・ 地域との連携インフラの整備
- ・ 第十中学校区、三井小学校、宇谷小学校の取り組み

「信頼できるWEBページとは」

- ・ 信頼できるWebページの捉え方
- ・ Webページ作成の授業の事例紹介
- ・ 新聞は？？ スポーツは？？

「府内におけるインターネット等を使った犯罪等の問題事例の現状と対策」

- ・ IT社会とサイバー犯罪の現状
- ・ サイバー犯罪及びインターネットトラブルの実例と対策
- ・ インターネットのルールとマナー

<考察>

情報モラル教育の難しさは、学校現場において、何をどのように教えればよいのかが、実感を伴わない点にあります。ネット社会においては、日々様々な問題が起こっているのですが、その深刻さに対する実感が児童生徒にも教員にも薄いことが影響していると考えられます。

さらに、教える側にとっても、これらの問題は初めて出会うものばかりであり、その解決の糸口を見つけるために、これまでの経験を生かすことが出来ないという点も情報モラル指導の難しさを生み出しています。

以上の課題を解決していくために、本フォーラムのような事業は学校現場に最新の情報や事例を広く伝え、ネット社会における個々の問題の重大さを明らかにしていく絶好の機会であると考えます。今後も本事業が継続して実施されることを強く希望します。